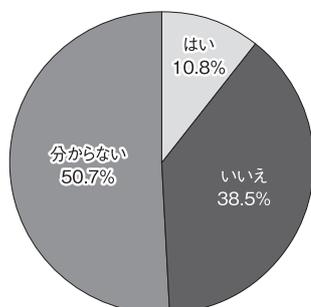


# 奨学金申請に係る成績・家計基準

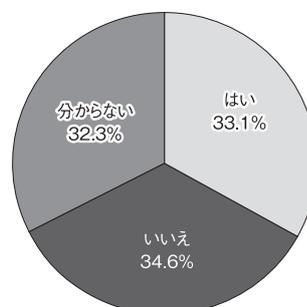
**問23-6** “成績”に関する基準が厳しい【日本学生支援機構の“貸与型”奨学金】

**問24-6** “成績”に関する基準が厳しい【本学独自の“給付型”奨学金】

【問23-6】



【問24-6】

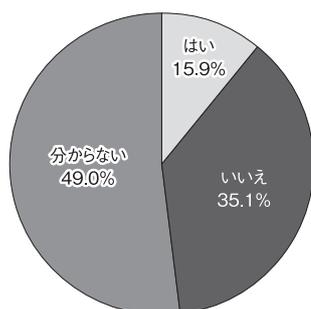


【基数：対象者全員】

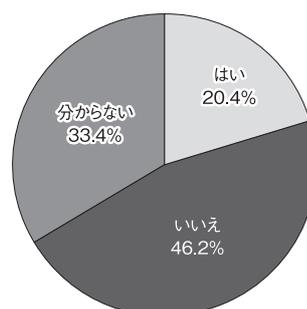
**問23-7** “家計”に関する基準が厳しい【日本学生支援機構の“貸与型”奨学金】

**問24-7** “家計”に関する基準が厳しい【本学独自の“給付型”奨学金】

【問23-7】



【問24-7】



【基数：対象者全員】

学部生同様、『本学独自の“給付型”奨学金』に関して成績基準が厳しいとの回答が他を上回る  
“家計”に関する基準については、いずれの奨学金も厳しくないとの回答が上回る結果に

それぞれの奨学金制度について“成績”に関する基準が厳しいかを調査したところ、「はい」と回答した大学院生は、『日本学生支援機構の“貸与型”奨学金』で10.8%であったのに対し、『本学独自の“給付型”奨学金』では33.1%であった。そしてこの“33.1%”という数値は、学部生に対する同様の設問において「はい」と回答した割合よりも6.2ポイント上回るものであった。

また、それぞれの奨学金制度に関して“家計”に関する基準が厳しいかを調査したところ、「いいえ」と回答した大学院生は、『日本学生支援機構の“貸与型”奨学金』で35.1%、『本学独自の“給付型”奨学金』で46.2%であった。そしてこの結果は、学部生に対する同様の設問において「いいえ」と回答した学生の割合と比較すると、『日本学生支援機構の“貸与型”奨学金』で15.1ポイント、『本学独自の“給付型”奨学金』で30.7ポイント上回るものであった。

なお、『日本学生支援機構の“貸与型”奨学金』の“成績”及び“家計”基準について「分からない」と回答した大学院生が、いずれも半数近くに上っているのは、問23-1で『日本学生支援機構の“貸与型”奨学金』を「受けていない」と回答した大学院生が57.5%と、半数を超えていることに関係しているものと思われる。